

令和元年度 第2回 西宮市公共事業評価委員会

瓦木中学校教育環境整備事業

(事前評価)

議事録

開催日：令和2年3月26日（木）

開催場所：西宮市役所 681 会議室

(西宮市六湛寺町 10 番 3 号)

令和元年度 第2回 西宮市公共事業評価委員会

1. 開催日時

令和2年3月26日（木） 9時30分から12時00分まで

2. 開催場所

西宮市役所 681 会議室（西宮市六湛寺町 10 番 3 号）

3. 審議内容

瓦木中学校教育環境整備事業（事前評価）

4. 出席委員

- (1) 会 長 岸野 啓一（岸野都市交通計画コンサルタント株式会社 代表取締役）
- (2) 副 会 長 山下 香（一級建築士事務所状況設計室 代表）
- (3) 委 員 岡 絵理子（関西大学 教授）
- (4) 委 員 尾崎 平（関西大学 准教授）
- (5) 委 員 倉本 宜史（甲南大学 准教授）
- (6) 委 員 松下 聡（武庫川女子大学 教授）

5. 出席者

教育委員会 教育総括室 学校施設計画課

課 長 柏木 弘至
係 長 半田 泰規
副 主 査 西 隆司

政策局 財政部 政策経営課

課 長 堂村 武史
係 長 小栗 佳奈
副 主 査 大川 匡之
主 事 吉本 直人

6. 議事録

- 事務局 ただいまより令和元年度第2回西宮市公共事業評価委員会を始めます。
本日は「瓦木中学校教育環境整備事業」の審議です。宜しく願い致します。
本日の流れとしましては、はじめに事務局から審議の進め方についてご説明させていただきます。その後、担当課が事業内容を説明しますので、質疑応答を行ったうえで、委員の皆様にご総合判断をまとめていただきたいと思いますと考えております。
- 会 長 それでは、ここからは会長に議事の進行をお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。
- 委 員 それでは、議事を進行いたします。
はじめに、会議録の署名委員を選出します。本日は岡委員をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。
- 会 長 わかりました。
- 委 員 次に、本日の委員会の公開、非公開についてお諮りします。本事業は特に非公開とする理由がありませんので公開としますが、よろしいでしょうか。
- 委員一同 (異議なし)
- 会 長 本日の委員会は公開とします。傍聴を希望する方はいますか。
- 事務局 いらっしゃいません。
- 会 長 今回は、現在の任期となって初めての審議となりますので、はじめに事務局より審議の進め方について説明をお願いします。

《事務局より審議の進め方についての説明》

- 会 長 ありがとうございます。それでは次に事業の担当課から、内容説明をお願いします。前回の現地視察にご出席されていない委員もいらっしゃいますので、改めてご説明をお願いします。

《担当部局による事業概要の説明》

- 会 長 ありがとうございます。ただいまの説明につきまして委員の皆様からご質問等をお伺いしたいと思います。
- 委 員 体育館について、今回の一連の工事では改修等は行わず、約20年後に建替えを行うとの説明がありましたが、建替え場所が今予定している位置でいいのか疑問があります。今回の事業評価には体育館の建替えまで全て含まれるのか、それとも、体育館の建替えについては、建替え時に改めて議論するので今回の審議には含まれていないと考えてよいのか教えてください。

担当課 現在お示ししているのはあくまでも現時点でのプランであり、将来的にはその時の教育環境や教育要領、地域との関係等を考慮して検討していくこととしております。

事務局 今回の審議に直接は含まれませんが、将来体育館を建替える際にこの点について考慮されたいというように意見を付すことは可能です。

会長 他にご質問等のある委員はいらっしゃいますか。

委員一同 (なし)

会長 では他にご質問等が無いようですので、ここからは委員会評価シートに沿って、審議を進めていきたいと思えます。

はじめに、「事業の目的・効果等に対する評価」のうち、「事業の目的・内容」について、委員各位よりご意見等がありますか。

委員 事業期間が6年と長期なので、全国的には生徒数が減少していく流れの中にある中で、瓦木中学校校区では、生徒数が多く教室が不足した状態が事業期間中も続く見通しであるということを、評価シート内に記載したほうがよいと思えます。事業が終了した頃には教室不足が解消するということでは困るので、そのあたりをきちんと配慮しているということを強調すべきだと思えます。

担当課 瓦木中学校校区は西宮北口の東側に位置し、西宮市内でも人気の区域です。直前の小学校である高木小学校、高木北小学校、瓦林小学校も人気の高い学校です。現在は、教育環境を保全するために規制をかけておりますが、いずれは規制を緩和していかなければならないと認識しています。いずれの小学校についても、進路先である瓦木中学校をパンクさせないために規制を続けているような状態です。今回の改築により教室不足を幾分解消できる見込みではありますが、人気の土地であること、まだまだ生産緑地が残っていること、令和4年度に生産緑地の考え方が変わるにより開発が急激に進むことなど、生徒数の減と規制の考え方をうまく調整しながら、建てた校舎がうまく使えるように考えていきたいと思っております。

委員 事業目的の成果のところには災害時の地域の避難所としての機能について書かれています。成果のところには書かれていますので、事業実施の背景となる問題・ニーズのところにも追加されてはどうかと思えますが、いかがでしょうか。

担当課 阪神大震災時に西宮市は大きな被害を受けました。その際に避難所として困ったことは、トイレです。トイレが機能しなかったこともあり、その後の改修の際にはマンホールトイレや太陽光パネルも併せて設置することで充実を図っています。現時点で避難所として特段困っているということではないのですが、いざという時のための対応としてシートには記載しています。委員ご指摘のとおり、事業実施の背景となる問題・ニーズのところにも記載したいと思えます。

会 長 最近、災害が多発するようになってきて問題となってきたのが、女性用トイレや更衣スペースがないといったことです。また、避難準備情報が出された際には、高齢者に早く避難してくださいという流れになっている状況です。前回の現地視察の際に、高齢者が車で避難してきた時にこれでは車は入って来れないなと感じました。避難所となる体育館の近くに、女性用の更衣スペースや避難者が車を停めるスペースがあればいいなと感じました。そういった配慮も設計の際に検討いただければと思います。

委 員 今回の校舎の改築、20年後の体育館の改修と続くようですが、最終的な姿はマスタープランのような形で考えておられるのでしょうか。

担 当 課 詳細まできっちりと決めたものではありません。今回の改修工事後は、まず体育館の位置を決めます。管理棟にある給食室については、稼働しながらの改修となるため、例えば、体育館の跡地に給食室を配置することも考えられると思います。今のところ考えているのはそのくらいです。後は、その時の情勢に合わせて、順番に配置を考えながらということになるかと思います。

実際に稼働しながら建替えを行わないといけないのが、体育館であり、給食室です。他のところは融通しながら、将来生徒数が減ってきたら、第4棟は建て替えを行わず、解体して空き地とすることもできます。今回の事業計画は、できるだけ将来に柔軟性を持たせた形で設計しています。

委 員 将来の予測が難しい中、ある程度柔軟性を持たせた計画を設計しているとおっしゃれましたが、そうは言ってもいくつかのシナリオがあると思います。生徒の人数が減少するだとか、大規模な災害が発生して体育館が20年後の建替えまでもたないというような状況になったりするだとかがあると思いますが、そういった将来起こり得ることに対しての大まかなシナリオのようなものは作成されていますか。

20年後にこの事業を継承される方に、当時ここまで考えましたというのを残していくことが大切だと感じたのですが。今回のような改修と改築が混じったような事例は今後も出てくると思いますし、その意味では今回の事例はとても良いモデルケースになってくると思います。今回検証されたことが、次回以降に使える知見として、何かしらの形として残されることで、事例を重ねるごとに深まっていくと思います。場当たりのことではなくて、これが起こったときはこうだとか、あれが起こったときはこうだみたいなものをフローとして残しておけば、次の改修・改築の事例の際に生かしていけるデータなり経験なりを蓄積していけるとてもいい事例なのではないかと思います。今回検討されたことを何かしらの形で残しておくことがとても重要だと思いました。

担 当 課 通常、事業の際には、計画の初期段階から決定事項は決裁として残しております。

- 委員 逆に未来から予測していくとう方法、将来こういったことが起こり得るだろうという今の時点で想像できることから辿っていくという、双方向的な検討というのがとても重要になってくると思いました。
- 委員 計画概要のところに残存校舎の改修とありますが、アスベストを除去するという点はあまり重要視されていないのですか。改修というときれいにするだけのように思うので、シートに記載しておいた方がよいと思うのですが。特筆すべき点ではないということでしょうか。
- 担当課 解体する古い建物にアスベストが使われているかどうかについては、調査しております。今回、法令上アスベストは除去しないといけないということで、当然のこととして捉えており、特筆はしておりません。
- 会長 各委員より様々なご意見をいただきました。それでは、委員会の評価に移りたいと思います。
まずは、「事業の目的・効果等に対する評価」ですが、事業の目的・内容については、これまでの意見及び質疑応答を踏まえると、適当（◎か○）となると思いますが、どちらが相応しいでしょうか。なお、各委員からいただきましたご意見につきましては、「提案・留意事項」としてまとめておりますので、そちらの確認もお願いいたします。
- 委員 教室不足について、現状、教育委員会のコントロール下にあるので、それとの関係を調整していくということによいと思いますが、不足がずっと続くというよりも、今コントロールしているということに記載すべきだと思います。校区上、普通のところとは事情が違いますので。
- 委員 学校としては建替えると、今後70～80年使い続けることになるので、将来の生徒数の動向というのは、出来上がった時には当然対応できなければならないですし、生徒数が減少していく中でどのように利用していけるかという点が大切だと思います。
- 会長 生徒数の減少という点については、前回の現地視察の際にも各委員からご指摘がありましたので、各委員ともに共通の認識だと思います。当委員会として留意事項に挙げておきたいと思います。併せて、都市計画的な規制や土地利用、学校の生徒数についてもきちんと考慮し、他の政策との調整を図るということも留意事項に挙げておきたいと思います。
事業の目的・内容についての評価は、適当（◎）と判断してよろしいでしょうか。
- 委員一同 （異議なし）
- 会長 続きまして、環境効果についてです。第3次西宮市環境基本計画の目標に基づき、事業を行っているとのことですが、いかがでしょうか。

委員 太陽光発電について、災害時にも太陽光発電が使えるとのことだったと思いますが、その認識でよろしいでしょうか。

担当課 はい。発電している時間帯のみになりますが、自立式のコンセントを用意することとなっています。災害時にも使えるようになっています。太陽光発電設備については、基本的には環境面への配慮により設置しますので、コンセントの数も少なく、それがあからといって避難所の運営に大きく役立つというものではありません。

委員 自家発電装置の設置予定はありますか。

担当課 自家発電装置は設置する予定はありません。今回の太陽光発電設備はあくまでも環境面に配慮したものであり、もちろん災害時に使用することは可能ですが、防災面に主目的を置いたものではありません。

委員 環境効果について、数値的なことを出すのは難しいかもしれませんが、現状の校舎と比較して建替えを行うことによってどのくらいの効果があるのか、例えば、今は省エネ型の設備を使っていないけれども、新校舎では採用するだとか、年度比較や他校との比較等があれば、委員会としてはより評価がしやすいと思います。今お持ちのデータの範囲で結構ですので、教えてください。

担当課 C02の前後比較のようなものは行っていませんので、数値での比較はできておりません。設備的なことでいうと、現状は蛍光灯を使っているのが新校舎ではLED照明に変更し、太陽光発電設備については新設いたします。また、空調設備について、現在は航空機騒音の関係もあり全館空調となっておりますが、設備自体が老朽化していることもあり、新校舎では個別空調に変更いたします。現在の省エネ型の設備に置き換えることによって、環境面への効果は大きくあると認識しています。

委員 自己評価シートに記載されている太陽光発電設備や雨水の利用等については今や標準的な仕様だと思いますが、これ以外に検討したけれども、予算的な制約等により実現しなかったというようなことは何かありますか。それとも他には特に検討していないということでしょうか。

担当課 蓄電池については検討しましたが、費用面での制約があり今回は見送りました。

委員 窓についてはどうですか。二重窓ですか。二重窓とすることで、断熱性が上がり、冷暖房費のコストが下がるとは思います。いかがですか。

担当課 二重窓ではありません。断熱性というよりは、割れにくく、割れたとしても破片が飛び散りにくいというような事故防止の観点を重視したのとなっております。

会長 色々検討はされているようですが、その具体的な内容や、定量的な効果測定を行ったかという点について、自己評価シートにもう少し詳しく記載するほうがよいと感じました。

委員 自己評価シートの環境目標欄について、「低炭素」と「安全・快適」という欄にチェック印が入っていますが、この理由について教えてください。

会長 学校の建替え事業における環境効果という点、中々難しいと思います。さらに、それが妥当かどうかと言われると、どういう根拠で答えられたのかということには気になります。

事務局 公共施設の整備にあたり、西宮市環境基本計画の視点で何か取組みをしているかという点については、別紙に記載のとおりです。

委員 第3次西宮市環境基本計画はいつ策定されたものでしょうか。

事務局 令和元年度です。

会長 太陽光発電等、基本的なことについては実施が予定されていること、最新の環境基本計画に適合しているということですので、環境効果の評価は適当（○）としてよろしいでしょうか。

委員一同 （異議なし）

会長 次に事業の年度別計画（経費）・効果についてです。

自己評価シートに記載されている参考単価（イニシャルコスト/整備規模）が721千円となっておりますが、これが妥当なものであるという根拠が分かれば、判断しやすいかと思いますが、いかがでしょうか。

担当課 自己評価シートが一番下に類似事業として安井小学校の整備事業について記載しています。㎡あたりの事業費を比較すると、本事業の方が高くなっておりますが、本事業には既存校舎の改修が含まれているためであり、事業費については、妥当であると判断しております。

委員 事業設計を行う際に、教職員の意見等は聴取されましたか。どのような教育をするかによって、例えば、アクティブラーニングをするとなると机の配置を変更できるような作り、備品が必要となってくるかと思えます。実際に使う人の意見を聴くことで、無駄のない効果的なものを作ることができると思うのですが。

担当課 その点に関しましては、基本計画に着手する際に、学校関係団体の代表者及び学校の教職員で構成する「西宮市立瓦木中学校校舎改築推進委員会」を設置し、協議を行っております。

委員 事業効果の中に、整備後に教室を地域開放することを見据えて、地域の中に優良な交流スペースを整備することを事業効果に記載すべきだと思います。小学校では地域開放ということをよく耳にしますが、中学校ではあまりそういった

担当課 委員 委員一同 会長 委員 担当課 会長 担当課 委員 担当課 委員 会長

ことはないですか。

地域開放という点では、中学校より小学校のほうが進んでいると思います。長期的な視点で考えて、地域への開放など将来的な空き教室の柔軟な転用についても記載すべきだと思います。

類似事業と比較して㎡単価が突出して多いとも言えないので、事業の年度別計画・効果の評価は適当（○）としてよろしいでしょうか。

（異議なし）

次に「事業予測・説明責任に対する評価」について、評価委員会としての見解を検討します。

必要性の項目について、自己評価のとおり事業の必要性は認められると考えますが、他に付け足し等、ご意見はございませんか。

今記載されていることに加えて、バリアフリー化など多様な生徒への対応のほか、特別教室の設置など教育の質の向上についても記載すべきだと思います。

わかりました。

次に合理性の項目について、代替案との経済比較欄が空欄になっていますが、今回の場合、段階的な建替えしか考えられないということでしょうか。

はい。

校舎の全面改築を行った場合には、具体的にはどういった工事になりますか。例えば、グラウンドに全ての校舎を建替えるようなイメージでしょうか。他の場所に用地を確保してというようなことは考えられていないのでしょうか。

その通りです。既存校舎を使いながら、グラウンドに新校舎を建てて、そちらに移動するというイメージです。他の場所に仮設校舎を建ててというようなことは考えておりません。

代替案として校舎の全面改築とありますが、その詳細が分かりにくいので、今回の工事との比較が難しいと感じています。そのあたりを詳しく聞かせていただけますか。

グラウンドに全面改築を行うとなると、現状と比べて校舎の位置が大きく変更されます。校舎の配置により環境が大きく変わることが予想されるので、近隣住民等地域との関係上は、配置は大きく変更しないほうが良いと考えています。ご指摘のとおり、代替案についてももう少し詳しく記載いたします。

代替案との経済比較については、そもそも規模が全く違うので、比較できないと記載すべきだと思います。

次に事業効果1の位置、規模、構造の各項目についてです。ご意見等ありますでしょうか。

委員 基本計画に記載されている新校舎の配置について、4階建てで敷地いっぱいに建てられるようですが、階層をもう少し高くして、敷地に余裕を持たせる方法もあると思います。その辺りの検討はされましたか。

担当課 日照権等、近隣住民の住環境を配慮し、できるだけ高層化しない方向で考えております。

委員 今回の事業の特徴として、新旧の建物を改修しながら共存させるということがあると思います。既存校舎のうち、設備面等そのまま使用する部分の機能を維持更新しながら移転することについても機能性の欄に記載すべきだと思います。

会長 事業効果2の社会性及び環境保全性についてです。

委員 社会性の欄で、「地域の避難所としての機能を果たすため、備蓄倉庫、災害時用トイレ等を整備する。」と記載されていますが、体育館をメインに考えられているかと思いますが、体育館以外の教室も避難所として利用されることは考えていますか。

担当課 避難所としては、体育館をメインに考えています。また、備蓄倉庫や災害用トイレは現在ありませんので、今回の改修の際に新たに設ける予定です。設置場所については、今後検討する予定です。

委員 自己評価シート内の事業を実施しない場合の懸案事項欄に記載のある「教室不足が解消しないことから、校区内の住宅開発抑制を緩和できない」とありますが、どういった意味でしょうか。

担当課 そもそも、住宅開発抑制がないことがあるべき状態だと考えています。現状は土地所有者に対し法的拘束力のない抑制をお願いしている状態であり、本来の姿ではありません。抑制のない、本来の姿に戻したいという意味で記載しています。

会長 社会性の欄に整備に伴い周辺の土地利用上の課題を改善することができるというような書き方で記載されてはいかがでしょうか。

担当課 わかりました。

委員 シート内に「積極的に緑化に取り組む」と記載されていますが、事業計画のどのあたりに記載がありますか。緑化については、あまり触れられていなかったように思うのですが。

担当課 緑化については、条例上の基準もありますので、積極的に取り組んでいきたいと考えております。また、卒業や同窓会等の記念樹についても、可能な限り残す方向です。

会長 事業効果3の機能性については、記載されている内容に同意するということで、事業効果が認められると判断したいと思います。

委員一同 (異議なし)

会 長 最後に反対意見等については、これまでの審議の中で出てこなかったかと思
いますので、特になしとしてよろしいでしょうか。

委員一同 (異議なし)

会 長 それでは、ここまでの審議を踏まえた評価委員会の総合的な意見については、
「計画どおりの実施が望ましい」としたいと思います。
ただし、①事業実施期間中の教育環境について配慮すること、②将来の動向に
合わせた柔軟な設計・配置に留意すること、③周辺地域との一体的な都市整備、
土地利用について検討すること、の3点を意見として付したいと思います。

会 長 本日の内容は事務局でまとめていただき、委員会評価シートおよび会議録にま
とめて提出してください。以上で本日の審議を終了いたします。

西宮市公共事業評価委員会運営要領 第5条により、西宮市公共事業評価委員会議事録に署名する。

令和 年 月 日

西宮市公共事業評価委員会

会 長 _____ ㊞

署名委員 _____ ㊞